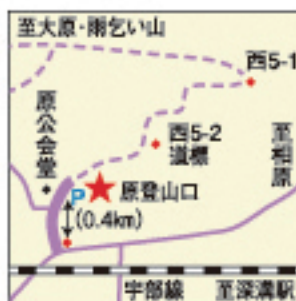


5-3 伊勢神宮跡(原登山口)(道標) G-6

【原地区(地区公会堂側より入る)】

◎原地区入口の宇部線踏切を渡って池沿いののどかな道を進むと、原公会堂の駐車場があり登山口の道標がある。



10 大浦古墳 H-8

【高見(浦辺)地区(きらら浜道路下り側道、浦辺～相原間)】 ◎平成8年発掘調査で御伊勢山裾、浦辺6基・大浦30基・梅ヶ崎16基が確認された。その内の代表的な6基をこの地に移築して展示保存公園とした。



17 大境石 J-6

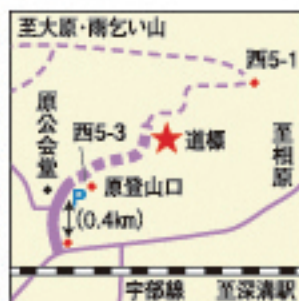
【唐植地区(植門より約0.4km堤防上端)】 ◎北の江開作を一望できる堤防の上に「中壘」と彫った石柱が建っている。藩政時代大戸領(北側)・佐世領(南側)の境界を示した。(平成22年堤防工事で紛失したため建て替えた)



5-2 伊勢神宮跡(道標) G-6

【原地区(原公会堂前より徒歩道山頂の途中)】

◎原登山口から山頂に至る中間、山道の三叉路。整備された山道に鳥の声や木の香が漂い、木漏れ日が癒す空間が楽しめる。



11-2 生雲五郎一の墓この先130m(道標) H-6

【相原地区(集落入口左)道標】

◎緑豊かな田園地帯の大堤池、水ヶ迫地蔵へ至る脇道に建っている。



18 藤尾の渡し L-6

【唐植地区(地区道を周防大橋下をくぐって先)】 ◎百間橋ができる前は、秋穂方面の往来は百間の渡しと当地の渡し場が主要路であった。嘉川のお釈迦様の花祭りには多くの乗船があり船を係留する石柱で往時を偲ぶことができる。

